

A News Letter of House and Living

住まいと暮らしのニュースレター

平成16年4月号



画 むげんてつや 先生

ごあいさつ

春ですね。お花見などされましたでしょうか？ご入学など新しい生活に入られた皆様！おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。どうか早く新しい環境のもとでがんばっていただきたいと思います。さて、弊社にも嬉しいことがありました。というのは「ニューハウス」という住宅月刊誌に弊社で施工した住宅が掲載されたのです。人気の建築家である泉幸甫先生の設計による石川様のお住まいです。こうして家を建てました！という紙面に5ページにわたって掲載されています。「土壁や地窓、縁側がつくるたたずまいに、日本人としての感覚がよみがえる美しい和の家」と、すばらしい見出しがついているではありませんか！昨年も別紙で紹介されたことがありますが、やはり泉先生の知名度は抜群です。もし、本屋さんで見かけましたら是非102ページをご覧くださいね。今回はPRになってしまいました、お許してください。



A News Letter from Woody Akiba

「家相」の起源をご存知ですか？

鬼門とは？

鬼門・北方騎馬民族の来襲！

家相とは、「家の方向、位置、構造などから吉凶を判断すること」また、風水とは、陰陽の説で「住居、埋葬の地を考える学問」であると国語辞書にはありました。どちらも中国の陰陽五行説に基づく考え方です。

紀元前3世紀ごろの中国・戦国時代から後漢に時代にいたるまで、中国が恐れ続けたのが、北方に住む騎馬民族でした。戦国時代、燕・趙・秦の国はそれぞれ、北に高い塼を作って防衛を試みました。(初期の万里の長城)それほどまでに恐れていたのが遊牧民族「匈奴」という国家でした。当時の都は洛陽など内陸に位置しています。とすれば匈奴は必ず北東からやってきましたから当然、北東に入り口のある家が襲われる確立が高かったのです。これが実は表鬼門が「北東」となった理由なのです。

それでは裏鬼門はなぜ南西？

それでは南西が裏鬼門となった原因はどこにあるのでしょうか。こちらは、農耕民族である中国の人たちにとって生活に直接営業を与えるものがあるからです。それはモンスーン・竜巻・偏西風など作物に被害を与える自然災害はいつも南西からやってきて北東にすすむことが裏鬼門となった理由です。

なぜ、水まわりを鬼門に置かれることを忌み嫌うのでしょうか。中国では中華思想があり、中国の土地が真ん中にあり、土は黄色をイメージしています。この土と相性がよくないのが水と火とされているようです。(むずかしくなってきたのでこのへんでご勘弁願います)

日本にやってきた家相

そして奈良時代のこと日本にも家相が伝わってきました。日本では、ある意味で本家中国以上に家相が信憑性の高いものとなり定着していきました。これには大変大きな原因があったのです。いつも災害や疫病は表鬼門である北東から、または裏鬼門である南西からやって来ました。それで家相を重んじる結果となったのです。

そうです！！あたりまえなんです！！

日本列島は都・京都からみて北東と南西にしか国土がないのですからね。全てのものは北東か南西からやってくると言っても過言ではありません。

家相とのつきあい方は・・・

家相には2つの要素があります。ひとつは先人の知恵に基づいた、理にかなった考え方。もうひとつは「語呂あわせ」や「ダジャレ」などあきらかに迷信的な考え方です。住宅金融公庫の調査によれば、50.7%の人が家相を考慮したと回答しており、考慮しなかった人を上回っています。

いい家を建てるためには、先人の体験の蓄積から得た生活の知恵のみ住まいづくりにを生かしていくことをおすすめします。私は決して家相を否定するわけではなく、ただ家相の制約をうけるあまり、家づくりに失敗していただきたくない考えるのみであります。(秋葉)

プレゼント

表紙の「むげん先生の絵はがき2枚セット」先着10名様

ご連絡先 秋葉建設(株) 秋葉 忠夫
〒289-2163八日市場市南神崎52-1
電話0479-72-0814 FAX047972-0824
Eメール akibakk@rapid.ocn.ne.jp
HP URL <http://www1.ocn.ne.jp/~akiba/>

次号も「読んであげてもいいよ」と思った方、是非ご連絡をお待ちしてます。即行動！